

申込方法



電話(075-771-0210)又はメール
(ikimonomanabi@city.kyoto.lg.jp)にて
日程・内容を御相談ください。



調整確認後、**講演依頼書(要公印)**の提出
をお願いします。



一覧以外のプログラムあるいは複数のプロ
グラムを希望される場合は**事前の打合せと
学習計画書の提出が必要です。**

- 注意**
- ・講演料は無料ですが、入園料は必要です。
 - ・入園料は団体料金もあります(Information参照)。
 - ・他のイベントや講演により、御希望の日時に
沿えない場合もあります。

! 秋は団体利用が集中するため、
早めのお申し込みをお願いします。

書類の取得方法

京都市動物園のホームページを開く
URL: <https://www5.city.kyoto.jp/zoo/>

ホームページ右のバナー
「学校向けプログラム」



「講演及び職員へのインタビュー
を希望される方へ」

講演及び職員へのインタビューを希望される方へ

「申込方法」の
「講演依頼書」、「学習計画書」を
ダウンロードしてください。

講演の場所について

講演は園内レクチャールームで行います。



場所
「退園口」から
建物に入り左側



※建物内は狭いため、
集合場所にはレク
チャールーム前広場
を御利用ください。

内部仕様

机、イス、プロ
ジェクター、
ホワイトボード
の利用が可能



※部屋を東西二つに分けることもできます。
※施設内にある骨格標本等には触れないよう
をお願いします。

Information

開園時間

9:00 ~ 17:00

(12~2月 9:00 ~ 16:30)
※入園は閉園の30分前まで

休園日

- ・毎週月曜日(祝日の場合は
翌平日)
- ・12月28日~1月1日

入園料

一般(高校生以上)	600円
団体(30名以上)	500円
中学生以下	無料
年間パスポート	2,400円

その他の
料金設定も
ございます。
詳しくは動
物園ホーム
ページを御
覧ください。

<学校等での団体入園について>

- ・公印(学校印)を押した「入園届」※を提出してください。
- ・団体入園の予約は不要です。
- ・団体入園時の引率の先生の入園料については、
京都市外の幼稚園、小学校、中学校は有料ですが、
保育園、こども園、特別支援学校・学級、児童福祉施設は
京都市内外問わず無料です。詳しくはHPを御覧ください。

※入園届は、動物園ホームページからダウンロードできます。
「来園者の方へ」→「団体での来園」

お問合せ

〒606-8333 京都市左京区岡崎法勝寺町 岡崎公園内
京都市動物園 生き物・学び・研究センター
電話: 075-771-0210 メール: ikimonomanabi@city.kyoto.lg.jp



氏名又は名称: 京都市長 門川大作 事業所の名称: 京都市動物園 事業所の所在地: 京都市左京区岡崎法勝寺町22
動物取扱業の種別: (展示)京都市登録第070051号 (販売)京都市登録第070052号 (保管)京都市登録第170004号 (貸出し)京都市登録第170005号
登録年月日: 平成19年5月22日 有効期間の末日: 平成34年5月21日 動物取扱責任者氏名: 岡橋要 京都市印刷物第〇〇〇〇号



“学びに”おいでやす 京都市動物園教育プログラム



	テーマ	タイトル	内容	時間(分)	主な対象					
					未就学	小学校低学年	小学校高学年	中学	高校	一般
講演	動物の保全	動物たちの現状	絶滅の危機にある動物たちの現状を知り、保護の必要性や動物園の取組について学ぶ	30-60		○	○	○	○	○
	動物園の取り組み	動物園の仕事	飼育員、獣医師の仕事を中心に、動物園で働く人たちの仕事について学ぶ	30-60		○	○	○	○	○
		動物園で学ぶSDGs	動物園における持続可能な開発目標(SDGs)について学ぶ	30-60		○	○	○	○	○
		動物園の役割	動物園の主要な役割である「種の保存」「教育」「調査研究」「レクリエーション」について学ぶ	30-60			○	○	○	○
		動物園の見どころ	動物園の歴史や現在の見どころを知る	30-60				○	○	○
		動物園研究	京都市動物園で実施している研究について学ぶ	30-60				○	○	○
		ツシマヤマネコの保護増殖事業	絶滅が危惧されているツシマヤマネコの保護や動物園での取組について学ぶ	30-60			○	○	○	○
	動物の生態	動物の暮らし	野生下と飼育下での動物たちの暮らしと、動物たちの暮らしが豊かになるような動物園の取組について学ぶ	30-60		○	○	○	○	○
		日本の自然と動物	身近な環境や身近に生活している動物たちについて学ぶ	30-60			○	○	○	○
	動物の体とくらし	動物の赤ちゃん	様々な動物の赤ちゃんの違いや子育てについて学ぶ	30-60	○	○	○	○	○	○
		動物のうんち	動物の食性による糞の違いや、糞が健康状態の確認に役立つことなどを学ぶ	30-60	○	○				
		動物の骨格	頭骨や手足の骨の形を見ることで、食生活、住環境などが見えてくることを学ぶ	30-60	○	○	○	○	○	○
	命のつながり	ゾウの肥料	ゾウの糞から肥料をつくり、作物栽培に利用している取組や、食物循環(窒素循環)について学ぶ	30-60	○	○	○	○	○	○
		動物園と疎水の関係	動物園と疎水の歴史から、動物園で利用されている疎水について学ぶ	30-60		○	○	○	○	○
園内ガイド	動物園の取り組み	動物園の見どころ	動物園の歴史や現在の見どころを巡る	30-45	○	○	○	○	○	○
		動物園研究	園内を巡りながら京都市動物園で実施している研究について学ぶ	30-45				○	○	○
	命のつながり	ゾウの肥料	園内のゾウの糞からの肥料作りや作物栽培への利用を実際に見学しながら、食物循環(窒素循環)について学ぶ	30	○	○	○	○	○	○
		動物園と疎水の関係	園内で利用されている疎水を巡りながら、動物園と疎水の関係について学ぶ	30		○	○	○	○	○
実習	動物の体とくらし	骨格標本を組み立ててみよう	骨格の仕組みを知り、生物の体の基本について学ぶ	90			○	○	○	○

※プログラム一覧にない内容を御希望の場合は、直接ご相談の上、学習計画書の提出をお願いいたします。

講演

定員:最大80名

動物園スタッフがお話しします。動物や動物園に関する基本的な知識を学び、視点や視野を広げることを目的としています。

場所 動物園レクチャールーム



園内ガイド

定員:最大20名

動物園内を歩きながら、テーマに沿った内容で動物園スタッフがガイドします。

場所 各動物舎など



講義実習

定員:10-30名

動物園で亡くなった動物の骨格標本を使い、実際に骨を組み立てながら、体の基本や骨格の仕組みについて体感しながら学びます。

場所 動物園レクチャールーム



実習

上記プログラム一覧の他にも、博物館実習、獣医実習、飼育実習、救護実習、高校生職場体験を実施しております。詳しくは動物園のホームページを御覧ください。また当園は京都市教育委員会事業のひとつである「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業の受入れ施設となっています。詳しくは京都市教育委員会のホームページを御覧ください。



博物館実習の様子

教育活動やイベントの運営、動物への環境エンリッチメントなどをしていただきます。